

Information

“キャリアアップ”と“つながる”ための情報です
気になる学会・研究会、セミナーなどに出かけよう！

※掲載している情報は11月4日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。

日本小児がん看護学会 認定「小児がん看護師」 研修制度

制度の目的 社会の流れと時代のニーズに沿った小児がん医療の現場に貢献できる、小児がん看護の専門知識を持った看護師を育成し、看護実践の質の向上を図る。

研修コース 2コース制を設置…「基礎コース」小児がん看護の基礎知識を習得するコース、「認定コース」小児がん看護の高度な知識をもち現場でリーダーシップがとれる学会認定を取得するコース

研修内容 疾患の理解から看護に至るまで全40単元

受講開始時期 3月、6月、9月、12月（年4回）

募集期間 受講開始2か月前の10日から前月の10日

研修方法 「基礎コース」eラーニング、「認定コース」eラーニングと集合研修

受講条件 「基礎コース」①日本小児がん看護学会正会員であること、②医療福祉・教育関係者など、小児がんの子どもと家族にかかわる者／「認定コース」①日本国の看護師の免許を有すること、②看護

護師実務経験が通算3年以上かつ小児がん看護実務経験があること、③「基礎コース」を修了していること

受講料 「基礎コース」1万5000円、「認定コース」2万5000円

日本小児がん看護学会小児がん看護認定事務局

✉ pon-office@spon.com
<http://www.jspn.com/pon/>

全国訪問看護事業協会 令和3年度研修会 （Web開催）

◎訪問看護師基礎研修会——訪問看護の第一歩（第3回）

募集期間 12月1日（水）～2022年1月27日（木）

受講開始日 12月1日（水）

受講可能期間 2か月間

講義時間 10時間

参加費 会員1万7000円、非会員3万2000円

対象 訪問看護に従事する看護師等

概要 訪問看護における接遇、訪問看護の実際と訪問看護利用者の理解・多職種との連携、あなたが目指す訪問看護とは、訪問看護の制度の理解、リスクマネジメントの視点、訪問看護における家族支援

◎訪問看護新任管理者研修会——これだけは知っておきたい管理者業務（第3回）

募集期間 12月1日～2022年1月27日

受講開始日 12月1日（水）

受講可能期間 2か月間

講義時間 9時間

参加費 会員1万7000円、非会員3万2000円

対象 訪問看護ステーションの管理者、または管理者になる予定の保健師・看護師・助産師で、訪問看護の新任従事者を対象とした研修会（訪問看護師基礎研修会や新任従事者研修会、他団体主催の同等の研修会を修了者）

概要 訪問看護ステーションの管理業務の概要・管理者の役割／訪問看護ステーションの経営管理／管理者としての課題の抽出・分析と今後の目標／訪問看護ステーションに関わる諸制度と訪問看護を取り巻く状況／訪問看護におけるICT活用のための基礎知識／ICTを活用した訪問看護ステーションでの管理業務の実際／訪問看護ステーションにおける質の管理

◎訪問看護新任管理者研修会II——経営管理の基本（第3回）

募集期間 12月1日～2022年1月27日

受講開始日 12月1日（水）

概要 訪問看護新任管理者研修会II——経営管理の基本（第3回）

募集期間 12月1日～2022年1月27日

受講開始日 12月1日（水）

概要 訪問看護新任管理者研修会II——経営管理の基本（第3回）

募集期間 12月1日～2022年1月27日

受講開始日 12月1日（水）

概要 訪問看護新任管理者研修会II——経営管理の基本（第3回）

募集期間 12月1日～2022年1月27日

受講開始日 12月1日（水）

概要 訪問看護新任管理者研修会II——経営管理の基本（第3回）

受講可能期間 2か月間

講義時間 4時間30分

参加費 会員8000円、非会員2万2000円

対象 訪問看護新任管理者研修会I修了者、または過去に訪問看護新任管理者研修会を修了した者

概要 訪問看護事業所における事業計画・予算の立て方／労務管理の基礎知識

◎精神科訪問看護研修会——精神科訪問看護基本療養費算定要件となる研修会

募集期間 12月24日（金）まで（受講開始済）

受講可能期間 3か月間

講義時間 20時間

参加費 会員1万5000円、非会員2万5000円

対象 訪問看護ステーションの精神科訪問看護に従事する保健師・看護師・准看護師・作業療法士

概要 精神科訪問看護の実際・利用者との信頼関係構築、対人関係の援助、日常生活の援助、症状悪化の早期発見、危機介入、医療継続の支援／精神科リハビリテーションの概念と実際／精神障がい者の理解、精神科疾患における薬物療法／保健・医療サービス提供システム／精神科訪問看護の理解とアセスメント／看護職のGAF評価

◎訪問看護ターミナルケア集中講

座——訪問看護を支える在宅
ターミナルケア(第3回)

募集期間 12月24日(金)まで(受
講開始済)

受講可能期間 3か月間

講義時間 21時間

参加費 会員4万3000円、非
会員8万3000円

対象 訪問看護に従事する看護師
等

概要 がん治療の現状・動向/緩
和ケアにおける薬物療法/在宅ホ
スピス緩和ケアの実践/在宅ター
ミナルケアの考え方と取り巻く法
的知識/在宅ターミナルのプロセ
スとケアのポイント/ターミナル
期の疼痛コントロールおよび症状
緩和の理論と実践/臨死期のケア
/エンゼルケア/退院支援の進め
方と実際/事例検討(ACP)

◎訪問看護師のための再度確認!
保険請求業務(第2回)

募集期間 12月1日~2022年
1月27日

受講開始日 12月1日(水)

受講可能期間 2か月間

講義時間 6時間

参加費 会員8000円、非会員
2万2000円

対象 訪問看護に従事する看護職
員(准看護師除く)、管理者また
はそれに準ずる看護職員と視聴で
きる事務職員

概要 訪問看護ステーションにお

ける介護保険・医療保険の算定構
造/保険請求の実際/公費請求の
実際/間違えやすい請求/「訪問
看護実務相談Q&A」の活用/施
設の訪問/令和3年4月の介護報
酬改定について

【以下共通】

問 全国訪問看護事業協会

☎ 03-33651-5898

FAX 03-33651-5938

https://www.zenhokan.or.jp/

第10回日本公衆衛生看護
学会学術集会10周年記念
大会(Web開催)

※10th International Conference
of Global Network of Public
Health Nursingの合同開催

日時 2022年1月8日(土)~
9日(日)

テーマ 平時が大事!リスクに備
え「生」を衛るポジティブヘルス

プログラム 学術集会長講演「災
害対策における保健師の力」松本
珠実(大阪市健康局健康推進部保
健主幹)、「公衆衛生看護技術の開
発と実装」岡本玲子(大阪大学大
学院公衆衛生看護学教授)/基調
講演「保健師、だれひとり取り残
されない地域を見守る専門職」中
村安秀(日本WHO協会理事長)、「
疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

「疫学」研究成果を保健活動に活
かす——生活習慣病予防、エコ

園女子大学教育人文文学部教授/
オンライン交流会「時差にも負け
ず、言葉の壁を超えて、唄って踊
って、世界の保健師と仲間であ
ろう!」

参加登録期間(一般) 1月18日
(火)まで

参加費(一般) 会員1万1000
円、非会員1万2000円、学生
3000円

問 運営事務局

〒541-0005

大阪府大阪市中央区備後町3-

4-1 山口玄ビル6階

株式会社日本旅行大阪法人営業統
括部MICE営業部内

☎ 06-42566-3869

✉ 10th_japhn@nta.co.jp

第9回慢性期リハビリ
テーション学会
(Web開催)

日程 2022年2月3日(木)~
4日(金)

テーマ プレレイルから終生リ
ハ After Coronaの時代へ

プログラム 基調講演「高齢化社
会の慢性期医療のあるべき姿」中
川俊男(日本医師会)/招待講演
「骨髄間葉系幹細胞による再生医
療——慢性期リハビリテーショ
ンの新たな展開」本望修(札幌医
科大学)/特別講演①「身体抑制

身体抑制

ゼロへの取り組み」中川翼(日本
慢性期医療協会)/特別講演②「栄
養とリハビリ」若林秀隆(東京女
子医科大学)/特別講演③「After
Coronaの呼吸器リハ」石川朗
(神戸大学)/シンポジウム①「プ
レレイルからのリハビリ——
地域からの特徴ある取り組み」松
田悌(おでかけリハビリ推進協
議会)ほか/一般演題

参加費「前期」5000円、「後期」
8000円(いずれも会員・非会
員および職種を問わず)

事前参加登録期間「前期」
2022年1月11日(火)、「後期」
1月12日(水)~2月21日(月)

問 運営事務局

〒150-0032

東京都渋谷区鶯谷町7-3-

101 学会サービス内

☎ 03-3496-6950

FAX 03-3496-2150

✉ mans@kriha.co.jp

http://www.gakkai.co.jp/mans-
skriha/index.html

第39回日本ストーマ・
排泄リハビリテーション
学会総会
(Web+現地開催)

日程 2022年2月11日(金・祝)
~12日(土)

会場 サンポート高松・かがわ国

会場 サンポート高松・かがわ国

際会議場（香川県高松市）

テーマ 実践知の核心と先達の信念

プログラム 特別講演「コーチング（仮）百井一幸（元日本ハムファイターズ）／教育講演①「災害時のトイレ事情（仮）」高橋真里（香川大学）／ほか

参加費「事前」会員9000円、非会員1万円、当日「会員1万円、非会員1万1000円、学生無料、懇親会3000円」

事前参加登録期間「事前参加」12月13日（月）まで、「当日参加」12月14日（火）から

参加登録方法 左記URLの参加登録ページより

<https://amarys-ib.jp/ssc39/>

問 運営事務局

〒105-0001

東京都港区虎ノ門2-2-5

共同通信会館4階 インターグループ内

☎03-5549-6909

FAX 03-5549-3201

✉ ssc39@intergroup.co.jp

<http://www.t-stoma.com/ssc39/index.html>

<http://www.t-stoma.com/ssc39/index.html>

**第36回日本がん看護学会
学術集
（Web＋現地開催）**

日程 2022年2月19日（土）

20日（日）

テーマ パラダイムシフトへの挑戦——がん看護をそうぞう（創造・想像）する

会場 パシフィコ横浜NORTH
プログラム 会長講演「パラダイムシフトへの挑戦——がん看護をそうぞう（創造・想像）する」栗原美穂（国立がん研究センター東病院）／特別講演「これからのがん治療の展望——がん看護への示唆」金子新（京都大学）／教育講演①「ビッグデータから見えてくるがん医療の質と課題——新しいがん看護の創造のためのヒント」若尾文彦（国立がん研究センター）／教育講演②「看護に活かす腫瘍循環器学」佐瀬一洋（順天堂大学）／教育講演③「もっと知りたいがん患者の妊孕性支援」秋谷文（聖路加国際病院）／教育講演④「CAR-T療法の実際と看護に求められること」後藤秀樹（北海道大学病院）／ほか／教育講演⑤「高齢がん患者の看護を行うにあたって知っておくべきこと」小川朝生（国立がん研究センター東病院）／教育講演⑥「放射線療法に伴う晩期有害事象へのケア」後藤志保（がん研有明病院）／シンポジウム①「がんゲノム医療における看護の役割とは——がん遺伝子パネル検査を受ける患者への関わりから考える」横堀潤子（東

京医科歯科大学）／ほか／シンポジウム②「がん患者の意思決定を支えるコミュニケーション」川崎優子（兵庫県立大学）／ほか／シンポジウム③「研究成果からがん看護実践を社会的評価につなげるために」小松浩子（日本赤十字九州国際看護大学）／ほか／シンポジウム④「がん薬物治療を受ける高齢者を支えるケア——高齢者のがん薬物治療の現状と明日からの支援を考える」満間綾子（名古屋大学医学部附属病院）／ほか／パネルディスカッション①「がん患者の暮らしとサポート」古賀友之（のぞみの花クリニック）／ほか／パネルディスカッション②「倫理的課題患者の意向と、家族の意向が異なる時——根治を旨とした手術を提案されたがん患者の事例検討を通して」板井孝吉郎（宮崎大学）／ほか／パネルディスカッション③「がん医療従事者、看護師のワークライフバランス、メンタルヘルス」清水研（がん研有明病院）／ほか／編集委員会主催研修会「実践報告」の投稿にチャレンジしよう！——査読者が大切にしている査読のポイント」片岡純（愛知県立大学）

参加費（2次登録）「会場＋Web」会員1万2000円、非会員1万4000円、学生4000円、「Web」会員1万円、非会員1万2000円、学生3000円

参加登録期間（2次登録）2022年1月11日（火）9時30分～2月20日（日）17時、「支払い期限」2月20日（日）17時

参加登録方法 左記の参加登録システムより
https://a-youme.net/scn/entry/c_register/enter.php

問 運営事務局

〒550-0001

大阪市西区土佐堀1-4-8

日栄ビル703A

あゆみコーポレーション内

☎06-6131-6605

FAX 06-6441-2055

✉ ssc36@a-youme.jp

<http://ssc36.unin.jp/index.html>